

## つながる税

須崎市立朝ヶ丘中学校3年 岡田 樹奈

「救急車が通ります」サイレンが街中に響き渡ります。私がまだ幼いころ、私の祖父は倒れ、救急車で緊急搬送されました。すばやい対応により、祖父はなんとか一命を取り留めることができました。

私はあるテレビ番組で、救急搬送するのに高額な代金を支払う必要があり、緊急事態でもなかなか救急車を呼ぶことができない国もあるということを知りました。では、なぜ日本では誰もが緊急であれば、救急車を利用することができるのでしょうか。

それには私達国民の納める「税金」が深く関わっていました。この税の作文を書くにあたって、私なりに税について学びました。「所得税」「贈与税」「法人税」など私にはまだはっきりと分からない難しい税がたくさんありましたが、その中の「消費税」は私にもよく理解できました。商品の購入やサービスを受ける際に私達消費者に課せられる、私にとっては一番身近な税です。ただ、この税金が何に使われ、私達に何をもたらすのかは、まだよく知りませんでした。しかし、今回税金について調べてみた結果、意外にも税金が私達の暮らしをしっかりと支えてくれているという事が分かりました。私の通う学校はもちろん、道路や橋など、私達がごく当たり前に利用するものにも、全て税金が使われていると知りました。そして、祖父の命を救ってくれた救急車も税金によって運用できているのだと分かりました。現在、新型コロナウイルスの影響でさらに多くの救急車が出動し、命を救ってくれていることだと思います。私は、税金の大部分を消費税が占めていると知ったとき、消費税からつながる命もあり、中学生の私でも誰かを救うことに少しでも貢献できているのではないかと嬉しく思いました。今まで知らなかったけれど、税金は私達の生活に安全や豊かさをもたらしてくれるものであると今は素直に考えられるようになりました。

私達日本国民は憲法で国民の三大義務として納税が義務づけられています。税金を通して、国民同士が支え、支えられるというサイクルができています。税金を納める額は一人一人異なり、それを不公平だと不満を感じる人もいるのかもしれませんが、しかし、私も納税を通して国民の一員として、支え合いのサイクルを広げたい、そのために将来たくさん税を納められる人になりたいと思います。

税が広げる世界、税からつながる人々、私の大切な人が救われたように、今日もどこかで誰かの大切な人が救われています。私達は国民として、納税する意味についてもっと深く学ぶ必要があります。そうすることが自分の生活、そして誰かの生活を守っていくことにつながると思うのです。

「救急車が通ります」私は今日もまた、遠ざかっていく誰かと救急隊員の方々にエールを送っています。